新堤防をさらに延長

信濃川左岸

建設省北陸地方建設局信濃川下流工事事務所では現在、新潟電鉄東関屋駅裏手の信濃川左岸で、暫定工法による新堤防工事を行っています。

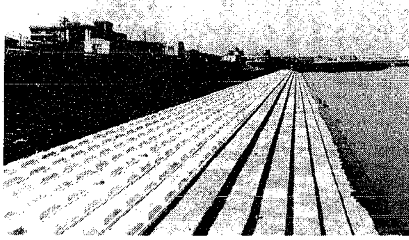
同工事事務所では、関屋分水路の分流点から万代橋までの約四・五㌔の区間の両岸に、百五十年に一度の大雨にも耐えられる新堤防造りを計画しており、昭和五十八年度から工事に着手しました。

新提防は現在の堤防に継ぎ足す形で、さらに一㍍高くし、川側へ三十五㍍幅を広げます。堤防の高い所の幅は五㍍です。

堤防の安全性や経済性、都市美観との調和を追求するため、コンクリートブロックを鉄筋でつないだ「連節ブロック工法」や太い針金で編んだかごに玉石を詰めた「栗石(ぐりいし)布団かご工法」など様々な工法が試されており、昨年度までに四百五十㍍の区間で工事を行いました。

今年度は、水辺に親しめるように階段を設けた「連節ブロック工法」でさらに下流側二百㍍の区間の工事を行います。完成した堤防は、順次、芝を張り付けていく予定です。

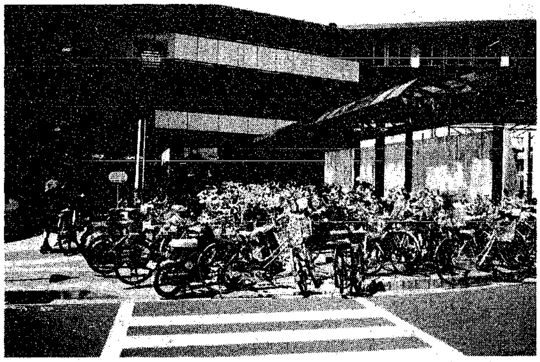
同工事事務所では、三月までの工事期間中、岸壁につながれている船の移動や堤防沿いの自転車道の一時的な交通規制や護岸の保全について、市民の皆さんの理解と協力を呼び掛けています。



水辺に親しめるように階段を設けた信濃川左岸の新堤防

放置自転車

駅周辺は大洪水



歩道の点字ブロック上にまであふれ出ている自転車(新潟駅南口で)

手軽に利用できる交通手段として、自転車を利用する人が増えています。

それに伴い、特に国鉄乗降駅周辺の路上や広場に無秩序に放置された自転車が増加しており、その数は二千四百台に達しています。

放置自転車は町の美観を損なうばかりでなく、他の人や車の通行障害となり、交通事故の原因にもなっています。

さらにひどいのは、歩道の点字ブロック上に自転車を放置している場合があり、目の不自由な人には非常に危険です。自転車利用者のマナーの向上が強く求められています。

市では引き続き駅前周辺の自転車駐車場の整備を行うほか、放置自転車の整理・撤去を進めていきます。

自転車を利用する人は、正しい駐車と路上放置の解消のため、次のことを守って下さい。

①近距離の場合は、できるだけ自転車を利用しない。
②路上や駅前広場など自転車駐車場以外の場所に放置しない。
③自転車駐車場に順序よく整然と駐車する。
④自転車は防犯登録をして、住所・氏名を記載しておく。

駅周辺の市営自転車駐車場

自転車駐車場の名称		収容台数
新潟駅南口		150
白新線	東新潟駅前	230
	大形駅前第1	120
	大形駅前第2	70
	新崎駅前	170
信越線	越後石山駅前	100
	越後石山駅前第1	380
	越後石山駅前第2	90
越後線	白山駅前	200
	関屋駅前	100
	小針駅前	220
	寺尾駅前第1	150
	寺尾駅前第2	100
	新潟大学前駅前第1	60
	新潟大学前駅前第2	180
	内野駅前	300
	内野駅前第1	300
	内野駅前第2	150

市役所です　こんにちは!　⑳

教育委員会・施設課長　佐野　仁

施設の持つ顔

新潟市内に市立の学校が全部で何校あるか皆さんご存じでしょうか。幼稚園三、小学校六十、中学校二十九、高等学校三、養護学校一の合計九十六校もあります。

これらの学校を見ていて気付くのは、九十六校それぞれに独自の顔があるということです。もちろん、施設自体が持つ「もの」としての顔だけを言うのではありません。

休日の人のいない学校の無表情さを思い浮かべてみると、施設の顔というのは、人がいて使っていてこそのものだと言えるでしょう。施設という「もの」は、人とのかかわりの中で初めて表情を持つと思われます。そして、それがどの様な表情であるかは、人とのかかわり方次第なのでしょう。

「水と安全はタダ」と思うのは日本人の特徴の一つと言われています。豊富な飲み水、安全な生活を当然のこととしか思わないことをさしているのでしょうが、私たちはこの様な考え方を公共の「もの」に対しても持ってはいないでしょうか。

あって当然の「もの」を大切にするのもまた当然であるという事を、得てして忘れがちです。こうした事は、「もの」と人とのかかわり方の問題の一つとして考えられてよいことではないでしょうか。

「もの」の表情――それは、取りも直さず「もの」にかかわる人の「こころ」の姿かもしれません。そういう目で「もの」を見てみることも大事なことではないでしょうか。

歳末　善意の寄付

ありがとうございました

「明るい正月を迎えて」と、社会福祉施設入所者や在宅寝たきり老人、交通遺児など恵まれない人たちに、歳末は善意の寄付や慰問品が相次いで寄せられました。

社会福祉　社会福祉のために寄せられたお金は、香典返しをはじめ、鹿島建設婦人会北陸支部のチャリティバザー売上金など、十二月だけで約二百三十万円にも上りました。この寄付金は福祉施設の運営費や福祉事業のために広く使われます。

交通遺児　交通事故で両親または片親を失った中学生以下の遺児たち(市内四十五人)に、市連合婦人会(高橋キク会長)の十万円をはじめ十二月中に十三件、約二十万五千円が寄せられました。この中には、北葉町でタコ焼き屋を営む梶原広寿さんの店頭に置かれた寄付金箱に、幼い子供たちから釣り銭などが約三千六百円寄せられました。また、第四銀行紫竹寮婦人部の皆さんからは、廃品回収をして得たお金三万七千円ほどが寄せられました。

これらのお金は、遺児たちの小・中学校入学祝金などに当てられます。

慰問品　新潟青果協会(高橋静雄会長)と、まる果新潟青果市場グループ(一社、三組合)から恒例のみかんが寄贈。協会の百箱、グループの百二十箱、計二百二十箱が市内三十九カ所の福祉施設、約二千百人に届けられました。

○㈱東華楼(游鎮發社長)からは、肉まんとあんまん約四千個が二十九施設、千三百人にプレゼント。

○ヤマザキ製パン従業員組合新潟支部(神田次郎支部長)からは、二十二施設八百人にケーキ百個ほどが届きました。

○NTT新潟電話・電報両局の労使からは、精薄者社会復帰訓練施設「ハイマート十字園」(上新栄町)へカラーテレビ四台、洗濯機一台、エアコン一台など、重度障害児者収容施設「千草の舎」(内野町)へ石油クリーンヒーター一台、除雪機一台など各五十万円、計百万円相当の家庭電化製品が贈られました。

○日本商業労働組合連合会からは、精薄児通園施設「ひしのみ園」(神道寺)へ六十五万円相当のエレクトーンが贈呈されました。

○西ライオンズクラブ(斉藤敬治会長)からは、心身障害者小規模通所授産施設「東福祉作業所」(米山一)へ卓球台と野球用具十万円相当と同施設「太陽の家」(上新栄町)の保護者会へ五万円、てんとう虫号の購入費用の一部として五万円が、それぞれ贈られました。

○新潟ロータリークラブ(敦井益郎会長)からは、精薄者通所更正施設「明生園」(水道町一)へ三十万円相当のコピーが寄贈。

○一昨年に設けられた敦井福祉基金から、養護老人ホーム「松鶴荘」(大山二)へ三十七万七千円、明生園に三十万円が各施設の保護者会に贈られました。

シーケンス制御講習会

日時　1月26日、2月2日午前9時～午後4時
会場　市高等職業訓練校(藤見町2―101)
定員　30人(電気工事などの従事者)
受講料　5,000円(テキスト、実技教材費)
持参品　腰道具、筆記用具、作業着
申し込み　今日から1月22日までに電話で会場(☎71―2535)へ　※月曜日は休館。

電気料理教室

日時　1月27日～29日午前10時～午後2時半(いずれか都合の良い日を選択)
会場　東北電力グリーンプラザ
内容　中華風しゃぶしゃぶほか
定員　各36人(先着順)
参加費　200円
申し込み　1月21日午前8時半から電話で会場(☎23―3151)へ

読書会案内

㉂坂井輪図書館読書会
日時　1月22日午前10時～正午
会場　坂井輪地区公民館3階
テーマ図書　井上ひさし著「モッキンポット師の後始末」
問い合わせ　坂井輪図書館(☎60―3242)へ

㉂沼垂図書館読書会
会場　東地区公民館
問い合わせ　沼垂図書館(☎41―4111)へ
㊐夜の読書会
日時　2月10日午後6時～8時
テーマ図書　「夜と霧の隅で」北杜夫著
㊐10時の読書会
日時　2月20日午前10時～正午
テーマ図書　「落城記」野呂邦暢著

自然に親しむ親子のつどい

期日　2月8日、9日(1泊2日)
会場　県少年自然の家(北浦・中条町)
対象　小・中学生と親100人
内容　親子歩くスキー、もちつき
参加費　1人2,000円
持参品　運動靴、下着、活動できる服装、洗面用具、軍手、健康保険証、防寒具、筆記用具
申し込み　電話で会場(☎0254―46―2804)へ

県警'86新春コンサート

日時　1月25日午後2時開演
会場　市音楽文化会館
曲目　ラプソディ・イン・ブルーほか
その他　入場整理券はお近くの警察署、派出所、楽器店にあります。

新潟県の最低賃金

県の最低賃金が決まりました。業務の内容によって適用が変わる場合があります。詳しくは新潟労働基準監督署(☎66―3131)へお問い合わせ下さい。

区分	最低賃金 1日(円)	最低賃金 1時間(円)
新潟県	3,367	421
食料品、飲料、飼料製造業	3,697	462
木材、木製品、家具、装備品製造業	3,818	477
繊維産業	3,471	434
出版、印刷、同関連産業、(速記、筆耕、複写業を含む)	3,879	485
機械、金属製品など製造業、自動車整備業	3,926	491
卸売、小売業	3,616	452